



— ふ ぐ る ま —

図書館だより 171号

(2012. 6. 1)

三郷町立図書館

三郷町勢野西1-4-4

TEL/0745(33)3030

FAX/0745(33)3188

<http://www.lib.sango.nara.jp/>

携帯電話 <http://www.lib.sango.nara.jp/mobile/>

節電の夏 近づく



今では生活の中でクーラーを使うことが当たり前になっていますが、一昔前までは扇風機や団扇の時代でした。人々も暑さをしのぐために様々な工夫を凝らして生活をしていました。昔の人の知恵に見習うことも、たくさんあります。

クーラーばかりに頼り切ると、身体が弱くなっていくようです。節電を前向きにとらえて、健康で豊かな生活を考えてみましょう。

図書館カレンダー

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間：午前9時30分～午後7時（日曜日は午後5時まで）

【休館日】

- ・毎週水曜日
- ・6月4日（月）一館内整理日
- ・7月2日（月）一館内整理日
- ・7月16日（月）一海の日



牧野 富 太 郎

繊細な植物画で知られる植物分類学者の牧野富太郎は「日本の植物学の父」といわれています。1862年5月22日生まれで、今年が生誕150年にあたります。600種余りの新種を発見し、2500種余りの命名もしました。戦前版の『牧野日本植物図鑑』と現代版の『牧野新日本植物図鑑』を原色化した『原色牧野植物大図鑑』は正編・続編の2冊あります。図版が大きく、花卉、雄しべ、雌しべや、花の細部も描かれています。色も美しく、眺めるだけでも楽しいので、一度ご覧ください。出身地の高知県立牧野植物園内牧野文庫に蔵書と植物画5万点あまりが所蔵され、採集した40万点あまりの植物は、東京都立大学牧野標本館に収められています。1957年に95歳で没し、翌年高知県立牧野植物園が開設されました。

『原色牧野植物大図鑑』『原色牧野植物大図鑑 続編』（R470）

牧野富太郎の生涯

牧野富太郎は、幼くして、父母、祖父を亡くし、10歳から寺小屋で学び、小学校は中退しています。家業の酒屋は祖母に任せ、植物の採集、写生、観察に没頭し、植物学を研究し続けました。東京帝国大学理学部植物学教室に出入りし、やがて『日本植物志図篇』の自費刊行を始めます。初期の植物図鑑です。28歳で発見した新種を学術論文に報告し、世界的に名を知られるようになりました。

『牧野富太郎自叙伝』 牧野富太郎（B289. 1マ）

『牧野富太郎』 渋谷 章 （289. 1マ）

『^{おとこ}武士の紋章』 池波 正太郎（BFイ）

池波正太郎は、牧野富太郎の伝記を芝居の脚本に書くことになり、富太郎の晩年に会し、幼少から晩年の様子まで描きました。ほかに、黒田如水、真田幸村、永倉新八などを収めます。

『^{しとね}草を褥に』 大原 富枝 （Fオ）

自らを「草木の精」と呼んだ学者と妻の波乱の生涯を、多数残っている手紙を添えながら描きます。標題は、植物研究の50年を回顧して詠んだ句「草を褥に

木の根を枕、花を恋して五十年」からきています。

牧野富太郎の著書

『牧野植物随筆』(B470. 4マ)

草木の名称や分類に関する通説の誤りを指摘しています。古今の俳人がカキツバタを杜若(とじゃく)とするのは、「いつまでも間違い切った旧説を墨守して正につくことをあえてしない人は文化に後(おく)るるは勿論、たちまち人後に墮つるのを覚悟せねばならない筈だ。東方日出でてなお燈を燃やす人々は憐れな者」と喝破しています。

『植物一日一題』(470. 4マ) ジャガイモと馬鈴薯の混用を嘆いています。植物分類学者としては妥協できないところなのでしょう。

『牧野富太郎自叙伝』(B289. 1マ)

三部からなり、第一部は自叙伝、第二部は随筆風、第三部は娘の筆で、素顔の牧野富太郎の様子が描かれています。「混混録」と題された第二部は、健康法から信条、日常のこと、家系、小学校を退学した理由、草木への思い、教科書でのジャガイモと馬鈴薯の混用についての文部大臣への書面など、素顔の牧野富太郎が表れています。



草木を描く

植物学者の草木の絵は、花の断面や細部までひとつひとつを丁寧に観察しています。道端に咲く草花や、庭の草木を観察して、描いてみませんか。

『柳宗民の雑草ノオト 1・2』柳宗民/著 三品隆司/絵(470. 4ヤ)

『描いて見よう 身近な植物』小野木三郎(470オ)

自然保護活動を続ける著者の絵。「植物のことをよく知るためには、相手をスケッチして、ついでに描いてみるのがとても効果的です。・・・ありのままを正確に写すことに専念し、全くの我流、個性的な描き方で十分」ということなら、描けそうな気がしませんか。

『身近な雑草の愉快的な生きかた』稲垣栄洋/著 三上修/絵(B470. 4イ)

『野草の自然誌』長田武正(B470オ)

江戸時代の名著『草木図説』の絵を添えています。

『野草を楽しむ』森田育之(470)『手のひらの中に草をあつめて』横山美恵子(470. 4)

『みちの辺の花』杉本秀太郎/文 安野光雅/絵(726. 5)

ひっそりと咲く可憐な花をいとおしみ、美しい絵と文で綴ります。

『だれでもできる花の描き方教室』七埜ゆき(724. 59)『透明水彩で描くやさしい植物画』

高橋京子(724. 4タ)『三原色で描く四季の草花』松本キミ子(724)

《参考》『花からの訓え』瀧井康勝(470. 4タ)『花の日本語』山下景子(470. 34ヤ)

『花を旅する』栗田勇(S470. 4ウ)

6月の行事予定

★おはなし会（毎週日曜日におはなしルームで行います）

今月は3日・10日・17日・24日です。

▽小さい子ども向けのおはなし—午前10時30分～10時50分

▽大きい子ども向けのおはなし—午前11時～11時30分

☆土曜の午後のおはなし会

23日（土）午後2時よりおはなしルームで行います。

★図書館上映会（毎週土曜日 午後2時より視聴覚室で行ないます）

2日（土）「砂の器」（1974年 143分）

監督：野村 芳太郎 出演：丹波 哲郎、加藤 剛

9日（土）「写楽」（1995年 138分）

監督：篠田 正浩 出演：真田 広之

16日（土）「エイリアン」（1979年 117分）

監督：リドリー・スコット 出演：シガニー・ウィーバー

23日（土）「悲しき口笛」（1949年 83分）

監督：家城 巳代治 出演：美空 ひばり

30日（土）「ママの思い出」（1948年 134分）

監督：ジョージ・スティーブンス 出演：アイリーン・ダン

☆フローアーコンサート

日時：23日（土）午後4時～4時30分

場所：図書館2階 おはなしルーム前

演奏：ギター・マンドリン・アンサンブル・ブルースカイ



★生涯学習室開室のお知らせ

期間：毎週土・日と 21日（木）～28日（木）（休館日を除きます）

午前9時30分～閉館30分前まで

対象：町内在住の方

■絵本の読み聞かせ連続講座

日時：6月19日（火）・26日（火）・7月3日（火）

午前10時～12時

ところ：会議室1

申込み：6月1日（金）から 先着30名